

07

若者の夜の居場所「Wednesday」報告

小学生から30歳までの方が誰でも立ち寄れる居場所を開設しました。日本財団の助成を受けての1年間の実施です。

■実施内容■

期間：2022年6月～2022年3月（週1回 / 合計43回）

参加者：延べ73名、配置スタッフ2名

内容：食事、飲み物提供・交流・勉強スペースの提供

写真は3月におこなったイベントの様子です。みんなでカレーとタンドリーチキンを食べました。

2023年度からは「中高生の居場所 Wednesday」としてあらたにスタートしています！



08

会計報告

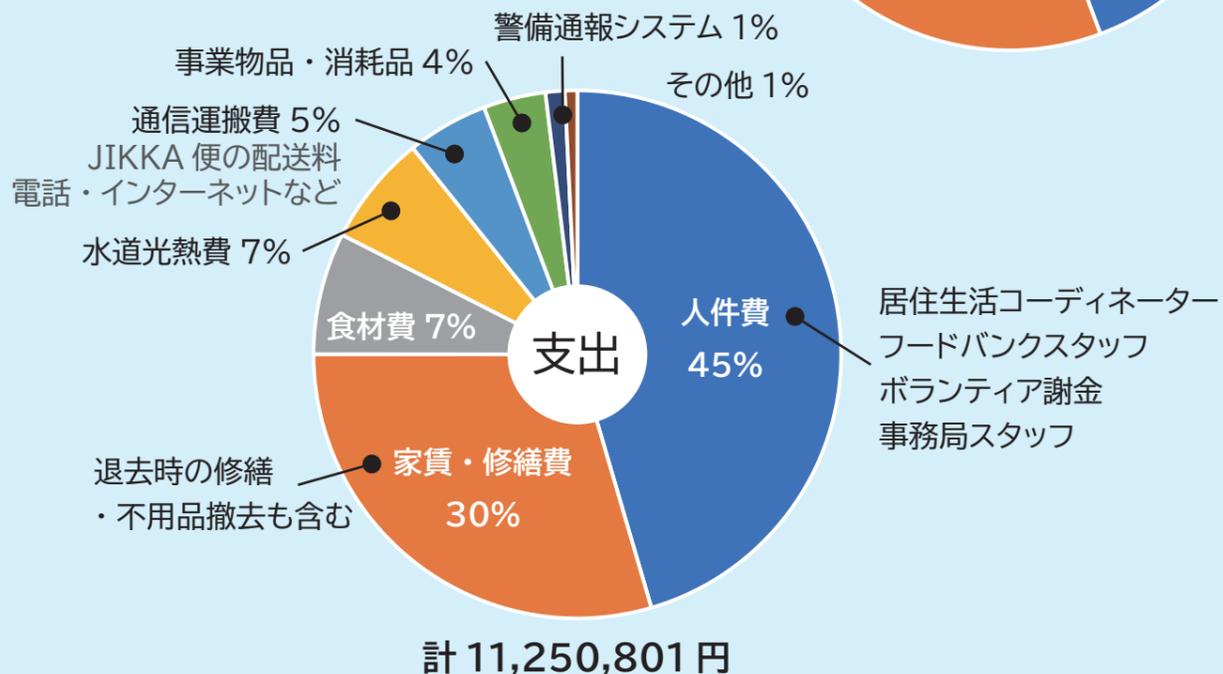
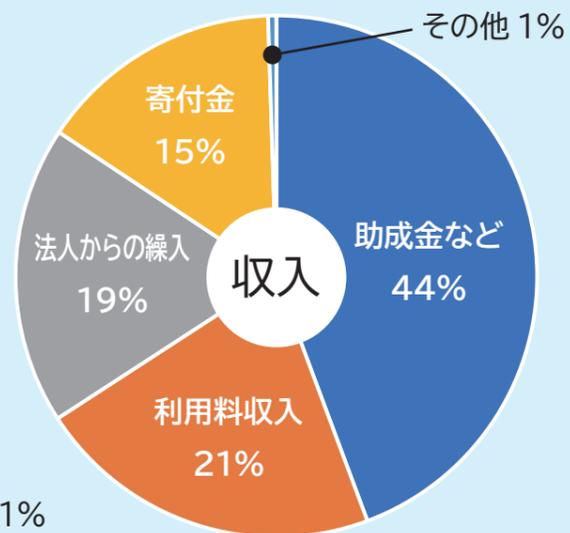
<収入>

2022年度は助成金の獲得に力を入れた1年でした。日本財団（若者の夜の居場所事業）、農林水産省の各種助成金（フードバンク事業）などをはじめ計約500万円を助成していただくことができました。2023年度も引き続き、様々な助成金の応募にチャレンジします。

<支出>

昨年度に引き続き、居住やフードバンクを支える人件費の割合が多くなっています。居住入居者に対する食材費や消耗品費はたくさんの方からの寄付品提供もあり安定して支援することができました。例年より多かった支出としては、居住退去時の修繕や不用品撤去が挙げられます。苦しい事情の入居者も多いためある程度のゆるさを大切にしつつも、居住時からのコミュニケーションの中で退去前に一緒に解決できるように進めていきます。

計 11,250,801 円



認定NPO法人さくらんぼ 2022年度 共生事業部 活動報告



理事長交代のお知らせ

2023年6月1日付けで特定非営利活動法人さくらんぼの理事長が宮本早苗から高橋洋子に交代いたしましたことをご報告いたします。

理事長交代後も法人スタッフ一同、より良い地域貢献が出来るよう力を尽くしてまいりますので、引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月吉日

特定非営利活動法人さくらんぼ

いつもさくらんぼをご支援いただきありがとうございます

日頃からさくらんぼをご支援くださっている皆様に活動報告をお届けいたします。事業の中でも公的な資金が入らない、皆様のご寄付等により支えられている事業（共生事業）についてのご報告となります。

01) 新しい居住支援施設が増えました！

生活クラブ生協神奈川、横浜みなみ生活クラブと三者共同事業体として「ホームタウンみなみ」をスタート！さくらんぼは其中で居住支援施設「Nagomo」の運営を開始しました！

女性のためのケア付き
シェアハウス「Nagomo」

■施設概要■

单身用居室4部屋

母子用居室1部屋

居住期間は1年程度（最長2年）を想定

■特徴■

- ①「食堂スペース・フードパントリー Minnade」「保育スペース Mitete」が同じ建物内にあります！
 - ②家具・家電つきなので、入居時に何もなくても大丈夫！
 - ③区役所やスーパーが近く便利。
 - ④困ったときにちょっと頼れる暮らし。生活コーディネーターが解決のためのサポートをします。
- 2023年6月現在、すでに3名が入居しています。施設パンフレットも同封していますのでご覧ください。



Nagomo 居室とリビングダイニングの様子



「ホームタウンみなみ」オープニングセレモニーの様子



食堂「Minnade」



「Minnade」フードパントリー

02) 短期居住支援施設「JIKKA」報告

- ・基準入居期間を3か月→6か月に変更しました
- ・3部屋→1部屋に部屋数を絞りました

開設当初に想定していたより入居事情が複雑なケースが多く、入居をしばらく次へのステップまでの並走を入居者の状態を見極めながらおこなっています。ケースによっては他の適切な支援機関につなぎます。中期（1～2年）居住支援 Nagomo が開設したことで、短期でサポートする JIKKA とのすみわけをおこない入居者の状況に合わせた居住の提供をおこなっています。2022年度はのべ6名の入居があり、退去後の生活はひとり暮らし3名、自立生活援助施設1名、母子施設1名、へと移っています。超短期の緊急利用が1名ありました。



03) 親を頼れない女子学生のための「下宿や With」報告

2022年度は延べ4名が入居、うち現在は3名が継続して入居中です。JIKKAの部屋数を減らしたところを本事業に転換し、部屋数を4部屋→6部屋に増やしました。2～4年と平均入居期間が長く、動きが少なく入居待ちが多く発生しているためです。入居の学生さんたちは、コロナも少し落ち着き学校に通い始めたようです。この3年ほどは授業もオンライン、サークルもなしで友人もつくりにくいといった状況が続いていましたのでやっと新たな学生生活が始まったという空気を感じています。



04) 水光熱費の値上げ セーフティネット住宅制度の導入

このところの水光熱費の値上がりが居住支援施設にも小さくない影響を及ぼし始めたため、今後の長いスパンでの運営も考え、共益費を入居者のみなさんにも相応のご負担をいただくことになりました。（各施設おおむね9,000円→15,000円に変更。実費相当分。）
値上げの対策として各施設を横浜市セーフティネット住宅に登録し、家賃補助制度を利用できるようにしました。これにより20,900円～25,900円/1部屋の補助ができるようになり、結果として入居者負担を軽減することにつながりました。

05) 来店型フードバンク「くろーばーマーケット」報告



利用登録者数が141名（昨年度比+43名）になりました。1日当たり平均35名、月にのべ約300名ほどの利用者が来店しています。増える利用者数に十分な提供量が追いつかないことも増え、助成金の取得などにより食糧品を購入補填することもありました。利用者アンケートを実施しました。様々な感想をいただいています。結果を同封しておりますので皆様もぜひご覧ください。

06) アウトリーチ型食支援「JIKKA 便」報告

JIKKA 便は社会的養護出身等の支援団体出身の若者に定期的に食糧品や手紙・プレゼントを送り、すでにある人や地域との関係性を途切れさせないようにするための仕組みです。現在は約25名の若者が利用しています。活動は支援団体と連携しながら進めています。利用者アンケートの結果を同封しておりますのでご覧ください！

